

2015年2月26日

ジェットスター航空

ジェットスター航空、7月より東京(成田)=メルボルン線に ボーイング 787 型機を導入へ

～2015年9月までにジェットスター航空の
全長距離路線にボーイング 787 型機を導入予定～

ジェットスター航空は、ボーイング 787 型機を新たに導入する路線を発表しました。現在、エアバス A330 型機で運航している東京(成田)=メルボルン線に、2015年7月10日よりボーイング 787 型機を導入する予定です。

ジェットスターグループ CEO のジェイン・ハードリカは次のように述べています。

「ボーイング 787 型機による運航をより多くの日本のお客様にご利用いただけることを、大変嬉しく思います。2014年7月および8月よりそれぞれ東京(成田)=ケアンズおよびゴールドコースト線に、同年9月からは大阪(関西)=ケアンズ線に同型機を導入して以来、お客様より高い評価をいただいております。特に明るくゆったりとした空間でお楽しみいただける機内エンターテインメントはご好評いただいております。直行便をご利用のお客様やジェットスター・ジャパンが運航する10都市からの乗り継ぎ便を利用されるお客様など、より多くのお客様に体験していただきたいと思っています。ジェットスター航空は、全ての長距離路線のうち3分の2が既にボーイング 787 型機で運航しており、2013年11月に同型機での運航を開始してから既に4,000便以上を運航しています。」

また、ハードリカは、ボーイング 787 型機の導入により大幅にコストを抑えるだけでなく、お客様に低運賃で快適な空の旅を提供することを可能にすると述べています。

「ボーイング 787 の導入は、燃料費の大幅な削減だけでなく維持費の削減にもつながるため、長距離飛行の経済性を根本的に変えるものです。ジェットスター航空は、本年中に追加で3機受領し9月までに全ての長距離路線をエアバス A330 型機からボーイング 787 型機に移行できるよう計画しています。これにより、ジェットスター航空が運航するどの国際線においてもより快適な空の旅の提供することが可能となるほか、お客様に低運賃を継続して提供できるメリットも期待できます。」

現在、ジェットスター航空は、東京(成田)とゴールドコースト、ケアンズ、メルボルンを結ぶ路線を週最大18便、大阪(関西)とケアンズを結ぶ路線を週最大5便運航しています。

なお、ジェットスター航空が保有する 8 機目のボーイング 787 型機が、2015 年 2 月 19 日から週 6 便で運航開始となったシドニー＝ホノルル線に導入されました。

■今後のボーイング 787 型機導入予定路線およびスケジュール

東京(成田)＝メルボルン*	2015 年 7 月 10 日(週 4 便)
シンガポール＝メルボルン*	2015 年 8 月 5 日(週 5 便)
メルボルン＝ホノルル*	2015 年 9 月 14 日(週 3 便)
ブリスベン＝ホノルル*	2015 年 9 月 14 日(週 3 便)

*当局の許認可を前提としています

ジェットスター航空について

オーストラリアおよびニュージーランドを拠点とするジェットスター航空(カンタスグループの子会社)は現在、オーストラリアの国内マーケットシェアは 3 位、オーストラリア発着の国際線では 5 位(座席数)です。ニュージーランドでは国内線、国際線共に運航している 2 位の航空会社であり、国内マーケットシェアにおいて 20%を誇っています。